

1 移転建替の概要

箕面市立病院は、老朽化が進行しており、施設構造上の制約から、最新医療への対応も困難になっていることを受け、令和13年度中の開院を目指し移転建替をします。

移転先は、箕面船場阪大前駅出入口から約300m（徒歩4分）の位置で、利便性が大幅に向上します。

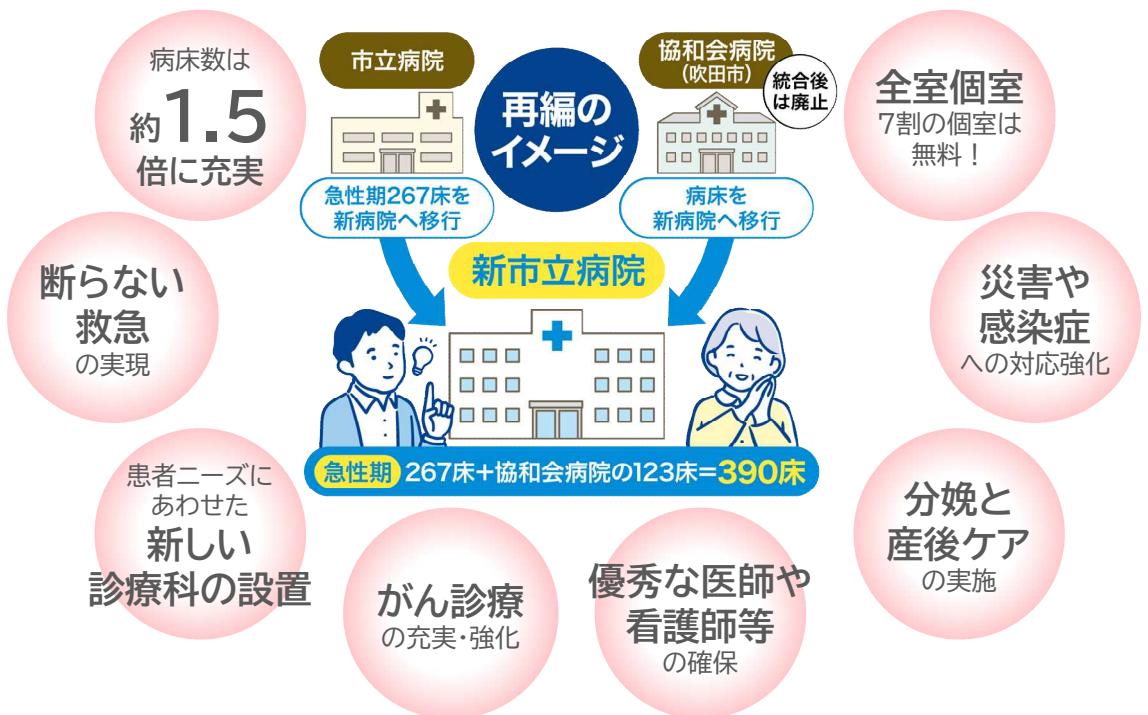


2 新病院のめざす姿や医療機能

3つの
コンセプト

1. 箕面市民の命と健康の砦となる公立病院
2. 広域性・公益性を持ち地域医療の核となる病院
3. 患者と医療従事者にとって魅力ある病院

新病院では、持続可能で質の高い医療を提供するため、医療法人協和会が運営する「協和会病院」（吹田市）と再編統合し、病床数の増加をはかります。



- <病床数> 390床（高度急性期・急性期）
- <病室> 全室個室（集中治療室等、高度な治療や観察が必要な病床は多床室を含む）
- <診療科目> 30診療科

内科（総合）、消化器内科、循環器内科、血液内科、糖尿病・内分泌代謝内科、脳神経内科、呼吸器・免疫内科、腎臓内科、緩和ケア内科、感染症内科、精神科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・甲状腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、救急科（ER）、麻酔科

※下線部は新設

3 新病院のイメージ

現在、新病院の設計を進めています。なお、「南西側からのイメージ」及び「フロア構成」は設計事業者からの提案であり、今後変更の可能性があります。

<南西側からのイメージ>



<フロア構成>

- ・ 駅からスムーズに4階出入口へアプローチできる施設構成
- ・ 3階フロアに外来・検査部門を集約
- ・ 1階出入口と4階総合受付はエレベーターでつなぐ
- ・ 箕面連山を望む病棟配置



<今後のスケジュール>

